アンサーバックサイレン装置　TANS-01/02/03　取り付け説明書

パーソナルＣＡＲパーツ

はじめに

この度はアンサーバックサイレン装置　高機能版・標準版をご購入いただき誠にありがとうございます。
本機を取り付ける際は、予めバッテリーのマイナス側ターミナルを取り外し、感電、短絡事故が発生しないよう、
充分に気をつけて作業を行ってください。
短絡（ショート）を発生させると最悪の場合、各種ＥＣＵ（車に装着されているコンピュータ）が破損し走行不能に
陥ることも予想されます。　充分予備知識を蓄えた上で、取り付け作業にとりかかるとこをお勧めします。
また、取付けに関するサポートは出来る限りさせていただきますので、お気軽にメールをください。
車種毎の配線図を車を購入されたディーラから入手されると、より具体的なサポートが可能となりますので、
ごー考願います（必要な部分は、ドアロック周り、ハザードスイッチ周りの配線図です）

それでは、本機が快適なカーライフの一助となれば幸いです。

動作仕様

本装置の動作仕様は、下記のとおりとなります。

◎ＡＣＣオフ後のドアロックで１回、アンロックで２回　ハザードを点滅させます。（TANS-01のみ）

◎ＡＣＣオフ後のドアロックで１回、アンロックで２回　サイレンを短く鳴動させます。
サイレン（ハザード）鳴動回数、鳴動時間、鳴動間隔は設定変更できます。詳細は”設定変更手順”をご覧ください。
※設定変更機能は、2010/5/18以降にご購入いただいた製品にのみ搭載されています。

◎ＡＣＣオフ後のドアロック検出で、ダミーセキュリティーＬＥＤの点滅を開始し、アンロックで消灯します。（TANS-01のみ）

◎ＡＣＣオフ後のドアロック検出で、汎用ＬＥＤスキャナを起動し、アンロックで消灯します。（TANS-03のみ）

※ほとんどのトヨタ車は本体のみでハザード制御可能ですが、トヨタ車以外でアンサーバックハザード
を作動させる場合はリレーオプション　ＨＲＬ－０４（￥１０００）　が別途必要です。
トヨタ車以外でもハザードスイッチがマイナスコントロール仕様でしたらオプションは必要ありません。
装着車両がどちらか判らない場合は、ＨＲＬ－０４を装着すればどちらでもハザード制御が可能
ですので併せてご注文いただければ確実です。

※サイレンは同梱されておりませんので市販されている４８Ｗまでのセキュリティ用サイレン（市販サイレンは
ほとんど使用可能です）をご用意いただくか、オプションサイレンＳＲＮ－０１（￥１５００）　をご利用ください。

※ＬＥＤは同梱されておりませんので市販ＬＥＤをご用意いただくか、ダミーＬＥＤオプション　ＳＬＥＤ－０１（￥１０００）
をご利用ください。　電流制限抵抗はTANS-01基板に既に搭載されています。

※接続可能なＬＥＤスキャナは、ボディーアース接続でスキャナが起動するタイプとなります。

※ターボタイマー装着車両へ装着する場合は　オプションリレー　ＳＢＲ－０１（￥１０００）　を装着することで
ターボタイマー作動時でも上記機能が作動可能です。

※本装置は１２Ｖ車専用です。　１２Ｖ車両以外には取付けできません。

取り付け手順

免責事項

装着の着手を以って、ご了解いただいたものとさせていただきます。

１．本装置の装着はすべて自己責任のもとで実施願います。

２．本装置装着による結果、または装着過程において、どのような事態に陥っても製作者に責は無いものとします。

※取り付けにはテスターまたは検電ペンが必要です。
※作業開始前に　装置配線図　を良く御覧いただき、各配線の接続先についてご理解お願いします。

取付け準備

車体への取付けにあたり、事前に次の準備が必要です。

＊配線の車体側接続先の確認
ボディーアース、常時１２Ｖ電源、ＡＣＣ（またはそれと同等の配線）、ドアロックアクチュエータ電源線、
ハザードスイッチ配線等です。　ボディーアースは近隣の適切なネジへ、バッテリー電源、ＡＣＣ等はオーディオ配線
周りから取ると簡単で良いと思います。
ドアロックアクチュエータ電源線は、ドアロック／アンロック時に短時間だけそれぞれ＋１２Ｖが出る線です。
通常はドア毎にドアロックアクチュエータが付いていますので、運転席側のドアロックアクチュエータ電源線を確認
するのが良いと思います。
取付け車種の配線図があれば容易に信号線の場所は特定できますが（購入されたディーラからコピーを入手する等）、
無い場合、テスターを使って探すことになります。　ドアロック・アンロックを繰り返しながらドアロックアクチュエータ
電源線を探してください（運転席の足もと付近にコネクタがある場合が多いです）。
ハザードスイッチ配線は、トヨタ車ではハザードスイッチ裏から取るのが簡単です。　オプションリレーＨＲＬ－０４
を仲介させる場合は、左右ウインカーのプラス配線に直接接続するのが確実です。

常時１２Ｖ電源、ＡＣＣ電源、ドアロックアクチュエータ電源線については当方ＨＰで公開中の
”キーレス連動ドアミラー格納装置”の車種別専用資料が、ハザードスイッチ配線については
”多機能搭載インテリジェントハザード装置”の車種別結線資料が参考となりますので是非ご覧ください。

各種配線の接続

注意：車側の各配線は切断しません。　本器配線と三又となるように接続します。

１．ドアロック時に＋１２Ｖとなるドアロックアクチュエータ電源線を　取付け車種の配線図または、テスターで確認します。
※ドアロック時に短い時間だけ＋１２Ｖとなります。　たいていは運転席足元右側付近にドアへ繋がっているコネクタが配置されてます。　その付近のコネクタをドアロック、アンロックを繰り返しながらテスターで確認してください。

２．ドアアンロック時に＋１２Ｖとなるドアロックアクチュエータ電源線を　取付け車種の配線図または、テスターで確認します。
※ドアアンロック時に短い時間だけ＋１２Ｖとなります。　たいていは運転席足元右側付近にドアへ繋がっているコネクタが配置されてます。　その付近のコネクタをドアロック、アンロックを繰り返しながらテスターで確認してください。

３．ドアロックアクチュエータ電源線を、本器の対応する線と接続してください（別紙の配線説明図を参照ください）。

４．ハザードスイッチ配線（ハザードスイッチがＯＮのときにボディーアースとなる配線）を　取付け車種の配線図または、テスターで確認し、本器の対応する線と接続してください（別紙の配線説明図を参照ください）。
オプションリレーＨＲＬ－０４を装着する場合は、結線先が異なりますので、下記のとおりとしてください。
１）本器のハザードスイッチ配線をＨＲＬ－０４の対応する配線に接続します。
２）ＨＲＬ－０４の常時電源配線を接続します。
３）左右ウインカーのプラス配線を、ＨＲＬ－０４の対応するそれぞれの配線に接続します。
※ＨＲＬ－０４が直接ウインカーランプを点灯させるイメージです。
※TANS-02/03にはハザードスイッチ信号線はありません。

５．ダミーセキュリティーＬＥＤの２本の配線を本器の対応する線と接続してください（別紙の配線説明図を参照ください）。
※ＬＥＤは極性がありますので、一度仮接続して点灯することを確認してから本接続してください。
※標準版ＴＡＮＳ－０２にはダミーセキュリティＬＥＤ配線はありません。

６．ＬＥＤスキャナのコントロール配線を本器の対応する線と接続してください（別紙の配線説明図を参照ください）。
※ボディーアース接続でスキャナが起動する配線、もしくはスキャナのボディーアース線を接続します。
※TANS-01/02にはＬＥＤスキャナコントロール配線はありません。

７．サイレンのプラス側配線を本器の対応する線と接続してください（別紙の配線説明図を参照ください）。

８．サイレンのマイナス側配線をボディー金属部に接続してください。

９．本器の動作キャンセル条件信号線を接続します。
本線に１２Ｖ入力で動作キャンセルとなりますので、動作キャンセルとさせたいタイミングで１２Ｖとなる信号線に接続してください（例えばＡＣＣ配線など）。
※ターボタイマー装着車両の場合、ターボタイマー作動時はＡＣＣがオン状況となるのでアンサーバックがキャンセルされてしまいます。　この場合、オプションリレー　ＳＢＲ－０１　を装着することでＡＣＣオン状態でもサイドブレーキを有効とすることでアンサーバック機能が作動できます。
ＳＢＲ－０１の結線方法については　別紙の配線説明図　を参照ください。

１０．本器の常時１２Ｖ電源、ボディーアースの各信号線を接続してください（別紙の配線説明図を参照ください）。

１１．ダミーセキュリティーＬＥＤ、サイレンを適切な位置に設置してください。
サイレンをエンジンルーム内に設置する場合は、できるだけ雨水が掛からない場所で、エンジンから遠ざけた場所に設置してください。　音量調整はサイレン開口部にスポンジなどを詰めて調整ください。

１２．接続が完了したら動作確認を実施してください。
正常動作が確認できましたら、本体を適当な場所（なるべく金属部分から離れている場所）に固定してください。

以上で終了です！　お疲れ様でした！

設定変更手順

※設定変更機能は、2010/5/18以降にご購入いただいた製品にのみ搭載されています。

サイレン鳴動回数、鳴動時間、鳴動間隔は予めプリセットされている時間に簡単に変更可能です。
プリセット番号は　ドアロックプリセット番号　と　アンロックプリセット番号　の２種類あります。
ドアロックプリセット番号は　サイレン（ハザード）鳴動回数　と　サイレン鳴動時間　を、アンロックプリセット番号は　サイレン鳴動間隔　をそれぞれ決める番号になります。
各プリセット番号の設定値は　表１、表２　のとおりになります。

＜変更手順＞

１．”ACCオン、約１秒待ち、ACCオフ、約１秒待ち”　を５セット繰り返します。　＞　設定変更モードに移行
キー操作感覚としては、１、２、３・・・　と秒数を数える様にACCオン、オフを繰り返します。

２．設定変更モードに正常に移行できた場合、現設定値のドアロック時サイレンが聞こえます。
サイレン鳴動が聞こえない場合は、ACCオン、オフ繰り返しの操作間隔を変えてお試しください。

３．ドアロック操作を１回操作してください。操作を検出する度にドアロックプリセット番号が１つづつ減算されてゆきます。
変更ごとにプリセット番号に対応した設定値でドアロック時サイレンが鳴動するので、ご希望に近いサイレン音となるまで操作を続けます。　番号１　の次は　１４番　になります。

４．アンロック操作を１回操作してください。操作を検出する度にアンロックプリセット番号が１つづつ減算されてゆきます。
変更ごとにプリセット番号に対応した設定値でアンロック時サイレンが鳴動するので、ご希望に近いサイレン間隔となるまで操作を続けます。　番号１　の次は　１５番　になります。

５．ご希望の設定が確定したら、ACCオンにし、そのまま約１０秒間お待ちください。
注意：プリセット番号を記憶させる必要があるので必ず１０秒間はACCオン状態にしてください。
注意：ドアロック操作、アンロック操作を約３０秒間行わなかった場合も設定モードから抜けます。

６．以上での操作で設定変更が完了します。

表１　ドアロックプリセット番号設定値一覧

	サイレン（ハザード）鳴動回数		サイレン鳴動時間
番号	ドアロック時	アンロック時	（秒）
1	１回	２回	最小 約０．０２
2	２回	３回	
3	１回	２回	段階的に変化 全部で７種類
4	２回	３回	
5	１回	２回	
6	２回	３回	
7	１回	２回	
8	２回	３回	
9	１回	２回	
10	２回	３回	
11	１回	２回	
12	２回	３回	
13	１回	２回	最大 約０．２５
14	２回	３回	

表２　アンロックプリセット番号設定値一覧

番号	サイレン鳴動間隔（秒）
1	最小　約０．０２
2	段階的に変化 全部で１５種類
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	最大　約１．００